



貝塚は数千年の歴史を語る。核のゴミは未来人に何を語る？

原発を運転すると高レベル放射性廃棄物、即ち、核のゴミが出る。経済産業省は七月二八日、その最終処分場候補地となり得る地域を示した「科学的特性マップ」を公表した。

それには、火山や、断層の近くはダメ、鉱山の近くは掘削するかも知れないからダメとある。それ以外の海岸近くを「好ましい地域」として緑に塗ってある。

核のゴミは十万年は保管しなければならぬ。だから、原発を使い続けたら、次々と核の最終処分場を作る事になる。

縄文人の捨てた貝殻で現代人は困ってはいない。しかし、核のゴミで未来人は困ったことになる。

ドイツ、ベルギー、スイスなどは脱原発の方針を決めた。ベトナムは原発計画を凍結。日本も率先するべきではないか？

皆さんはどう思われますか？

高レベル放射性廃棄物の放射能は使用前の一億倍に増える。ガラスで固めた核のゴミの傍に人が立つと二十秒で死ぬ。その放射能が元のウラン程度に減るには十万年かかる。

それを地下三百m辺りに埋めるのが「核のゴミ最終処分場」

放射能が漏れ出すことはありませんか？

横須賀中央駅 (京浜急行)

横須賀市

二〇一七年七月



横須賀市にはJR横須賀駅と京浜急行横須賀中央駅がある。この二つの駅前は大きく違う。どことなくうらぶれたJR横須賀駅。一方、横須賀中央駅には商店街。

明治半ばに引かれたJR横須賀線は軍事優先。駅周辺に商店街の立地する余地もない。

昭和初期に出来た京急は横浜からまっすぐ南に向かう。利便性では京急に軍配が上がる。

こうして横須賀中央は繁華街の中心になった。

駅前にはドーナツ型の歩行者デッキがある。自動車と人を分けるので安全？

でも、年寄りの含め、人に階段を上り下りさせる。本来なら人が地上を歩き、動力のある車が人をよけて地下下り、二階を走るべきではないだろうか？

